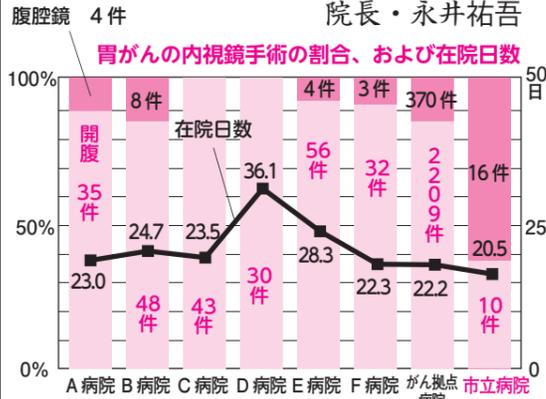


Report.2

十分な医師が確保できました

院長・永井祐吾



精度の高い乳がん検診が可能
また、今年度より「大阪府癌拠点病院」に認定され、胃がん、大腸がん、乳がんなど大がんの地域連携パス(※2)の基幹病院としての責務を担うことになりました。

9月には、前の小児

院 長を引き継いで1年3か月が経過し、市立病院もどんどん進化を遂げています。本年4月には、大阪市大より呼吸器内科2人、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、消化器内科各1人、計6人の内科医が新たに派遣されました。外科医の協力もあって、それまで人手不足で制限していた二次救急(※1)を月々木曜日に再開できました。それ以外の日でも、かかりつけの患者さんなどでは限り受け入れる方針で、患者さんも徐々に増えています。

内視鏡を駆使した、体に負担の少ないがん手術を多数実施

外科・内視鏡外科では胃がん、大腸がんなどの手術の6割以上が内視鏡外

科手術で施行され、「内視鏡を駆使した低侵襲治療に特化した消化器病診療」が進められています。図は全国の病院と当院の胃がん手術における内視鏡手術の割合を示したグラフです。全国のどの病院にも増して腹腔鏡下手術の割合が多いのが一目瞭然です。折れ線グラフは平均在院日数を示しますが、最も入院期間が短くなっています。

また、わたしが赴任して6年が経過したのをきっかけに、胃がんや大腸がんの治療成績を出してみました。いずれも全国平均より良好です(詳しくは市立病院ホームページ参照)。

今年度は、消化器内視鏡専門医が多数勤務する特色を生かして「大腸内視鏡検査の他、さまざまなオプションを加えた一泊人間ドック」を考えています。

科外来に「外来化学療法室」が広がって完成しました。さらに、乳がんのX線診断装置(マンモグラフィ)も更新しましたので、より精度の高い検診も可能となりました。

市内外から出産希望者集う 地域母子周産期医療センター

昨年9月に発足した地域周産期母子医療センターは、稼働率70~80%で順調に運営され、本年10月から晴れて府から地域周産期母子センターとして正式に認可されました。これに伴って、一定の頻度で発生しうる低出生児の手術に備え、本年4月に小児外科専門医、吉田医師を常勤として招き、すでに十二指腸閉鎖の手術、臍尿管炎(盲腸)異常、あるいは鎖肛(生まれつきお尻の穴が閉じている病気)の手術などに成功しています。また、子どものソケイヘルニア(脱腸)や急性中垂炎(盲腸)について、当院は小児外科専門医と内視鏡外科技術認定医が常勤していますので、これらの手術を内視鏡外科手術、つまり小さなキズで実施することが可能です。

このように、安心安全な出産を求め、市内外からの出産希望者が受診され、分娩数も順調に増加しています。

また、昨年まで市役所内で実施していた発達障がい児のリハビリを、院内のリハビリテーションセンターで引き継いでおります。さらに高度なリハビリを目指し、作業療法士も新たに採用してすでに活躍しています。

そして、子育てに励む職員のために、院内保育所を新設します。来年のオープンを目前に、現在、職員全員にアンケート調査中です。

糖尿病など、生活習慣病に對し 総合的なチーム医療で治療に当たる

生活習慣病に対するチーム医療についても、4月に赴任された糖尿病専門医李医師を中心に、「糖尿病地域連携パス」を復活させ、徐々に医師会の先生方との連携が深まっています。今後は、循環器内科破戸医師、呼吸器内科伊東医師、濱中医師、腎臓内科設楽医師とともに、総合的なチーム医療を展開していきたいと考えています。さらには約1年間欠員であった整形外科ですが、岸田医師が6月から常勤で赴任し、すでに手術も再開。また、7月からは和歌山医大整形外科から、3人の応援医師が交代で外来を担当します。

神谷市長の奔走で、自治体病院の医師不足が問題となっている今日には珍しく多数の医師が確保でき、これまで以上に良質の医療を提供する条件が整いました。地域の中核病院として、地域医療に貢献したいと考えています。

進化する市立病院



市立病院では、安心して子どもを出産することのできる体制を整えるため、地域周産期母子医療センターを設立し、診療開始から1年が経過しました。また、従来は妊娠30週から受け入れていましたが、現在は28週から受け入れています。さらに良質の医療を皆さんに提供するため、「子どもと女性に優しい医療」「消化器病診療の充実」「生活習慣病対策」の3本柱を目標に掲げ、日々努力しています。進化する市立病院の取り組みや、最新の情報をお届けします。

Report.1

新外来化学療法室で有効に抗がん剤治療



設備が充実し、スペースも広くなった新しい外来化学療法室

最 近の調査で、わが国では成人の2人が1人が、がんにかかっているとされています。また、がん検診を受ける人が少ないので、発見時には手術できない状態の進行がんもまだまだ少なくありません。

抗がん剤治療は、このような外科手術が困難な進行がんの患者さん、手術後再発してしまった患者さん、あるいは再発を予防するために抗がん剤が必要と思われる患者さんに行われ、その数はがんにかかった人の半数以上にのぼります。

抗がん剤治療は、きつい副作用のわりに、効果が期待できないものが多い印象がありました。最近では、有効性の高い新しい抗がん剤がたくさん開発されています。さらに、抗がん剤の副作用を

抑える薬もどんどん開発され、以前のような大変しんどくてつらいものではなく、外来通院でも十分安全に行えるようになりました。外来で抗がん剤治療を受けながら、在宅療養や職場復帰が可能となったのです。

快適で効果的な抗がん剤治療のため 新しい「外来化学療法室」を用意

そこで、今までは、1階リハビリセンター横の部屋に設けた3床で外来治療を行っていましたが、大阪府がん拠点病院の認可を受けたのをきっかけに、今年9月に新しい外来化学療法室を設けました。場所は2倍以上に広くなり、快適に化学療法を受けていただくために、プライベートに十分に配慮するとともに、リクライニングチェアを採用し、ベッド間のスペースも広く確保しました。ベッド数は、最初は5床で始めましたが、外来患者さんの増加が見込まれますので、順次10床まで増床していく予定です。

また、隣には新たに医療相談室を設置しましたので、地域医療連携室の相談員とともにさまざまな患者さんの相談に応じさせていただきます。

医師、薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカーなどが、ひとつのチームの中で、しっかりと役割分担を行って、「安全、安心、快適、かつ効果的な外来化学療法」を行うとともに、地域の医療機関とも協力して、患者さんの満足と納得をいただける医療を提供できるよう努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

乳がん一次検診をご利用ください!

市立病院では、「子どもと女性に優しい医療」を目指しています。女性は家庭の太陽です。ご自身とご家族を大切にするためにも、ぜひ、乳がん一次検診をご利用ください。検診の予約電話番号は次のとおりです。

市立病院予約センター
☎ 0725・32・5489 (ごよやく)

院内保育運営事業者の募集を予定

市立病院では、病院で働く医師や看護師の確保のため、病院内保育所を開設する予定です。つきましては、その運営事業者を募集します。詳しくは、病院総務課までお問い合わせください。

問合 市立病院総務課 (☎ 32・5622)

市立病院からのお知らせ



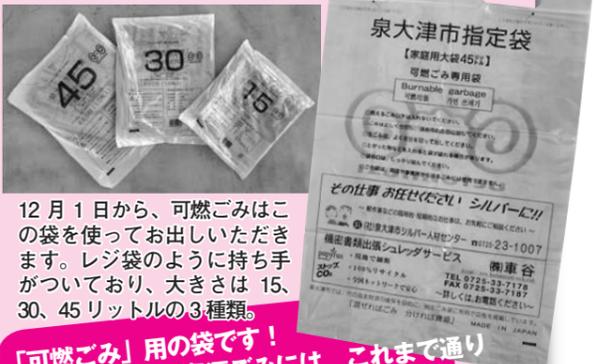
※1...入院や手術を要する症例に対する医療 ※2...地域のかかりつけ医と連携して一定の治療方針で診療を行う手段

ECO 2 「混ぜればごみ、分ければ資源」 資源に生まれ変わる「資源ごみ」3種

12月から施行される可燃ごみの有料化は、ごみ減量のためのひとつのきっかけです。これを機に、もう一度ごみの分別・減量について考えてみませんか？ 可燃ごみに入っているごみの中には、まだまだ資源になるものが入っています。皆さんが分別を意識することで、さらなるごみの減量が期待できます。

紙パック→「トイレットペーパー」など

牛乳などの紙パックは、軽くすずいで切り開き、「資源の日：古紙」の日にお出しください。「紙パック」は、トイレットペーパーなどに生まれ変わります。
※地域の集団回収でも回収しています。



12月1日から、可燃ごみはこの袋を使ってお出しいただきます。レジ袋のように持ち手がついており、大きさは15、30、45リットルの3種類。
「可燃ごみ」用の袋です！紙パックなどの資源ごみには、これまで通り透明または半透明の袋をご利用ください。

ペットボトル →「繊維製品」など

ペットボトルは、ふたとラベルをはずし、軽く洗って「資源の日」にお出しください。中間処理施設で前処理された後、溶融・固化され、繊維製品などに生まれ変わります。



食品トレイ→「プラスチック製品」など

9月から発泡スチロール製の食品トレイは、ペットボトルと同じ袋で「資源ごみ」として回収しています。また、納豆やカップラーメンの容器は食品トレイとは別で、「可燃ごみ」としてお出しください。食品トレイは、中間処理施設で前処理された後、溶融・固化され、プラスチック製品などに生まれ変わります。



紙ごみはリサイクルへ！

「雑がみ」とは？

「雑がみ」とは、お菓子の紙箱、葉の箱や、ダイレクトメールの封筒など、資源となる紙類一般のことで、家庭から出る可燃ごみのおよそ40%を占めています。



雑がみは決められた回収日に！

雑がみは、決められた資源ごみの日、または地域の集団回収にお出しください。

注意！ リサイクルできない紙ごみ

紙ごみすべてがリサイクルできるわけではありません。次のようなごみは、紙製品であってもリサイクルできませんので、「可燃ごみ」の日にお出しください。

- 油・食品などで汚れたもの
- 使用済みのティッシュ
- 感熱紙、カーボン紙
- においのついた紙(洗剤の箱など)



雑がみはこのようにして出すと便利です



② 紙袋にまとめる



③ 封筒にまとめる



雑がみが少ない家庭などに便利です！

ECOタウン を目指して

ごみ減量推進ニュースあれこれ

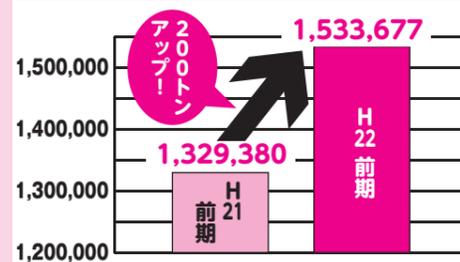
ECO 1

集団回収の回収量が、 前年に比べ約200トン増えました

平成21年度前期と22年度前期を比較すると、集団回収の回収量が約200トン増えました。市民の皆さまのご協力により、分別意識が少しずつ変わってきた成果だと考えています。今後とも、出前講座などを通じ市民の皆さまへ紙類の分別徹底について、お伝えして行きたいと思っております。
※資源ごみを集団回収にお出しいただくことで、本市のごみ減量につながるとともに、地域への助成金も増額となり、地域の活動資金として活用いただけます。

■ 集団回収の回収量

(単位：kg)



■ 品目ごとの 集団回収の回収量

(単位：kg)

品目	H21	H22
新聞	843,515	916,376
雑誌	228,661	257,115
段ボール	201,861	285,217
古布	50,516	68,737
紙パック	4,827	6,232
合計	1,329,380	1,533,677

12月1日から、可燃ごみの指定袋制がスタートします。ごみを減量することは、地球環境にはもちろん、わたしたちの暮らしにも役立ちます。今月は、ごみ減量にまつわる情報を特集します。ごみを減らして、「エコなまち・泉大津」をみんなですくっていきましょう！

12月1日の収集から指定袋制になります。

12月1日(火)のごみの収集からご家庭から出る燃えるごみは市が指定する緑色の指定袋(次ページ写真)でお出しいただく方法に変わります。指定袋を取り扱っている店舗は、10月号の広報紙およびホームページに掲載しています。

なお、指定袋制は可燃ごみだけですので、「かん・びん」や「ペットボトル・食品トレイ」は今までもおり、透明または半透明の袋でお出しいただけます。

生ごみを乾燥・減容します。購入費用の最大50%を助成！

生ごみ処理機 活用のススメ

生ごみの約80%は水分。そのため、水分を好む雑菌がどんどん増えます。生ごみの嫌なにおいは、雑菌が活動している証拠です。水分をたくさん含む生ごみは、雑菌の格好の住みかになります。生ごみ処理機(乾燥機)は、その主な原因である水分を乾燥し、除菌できる道具です。生ごみを乾燥させることにより、その量を約7分の1に減容できます。市では、この生ごみ処理機の購入に対し、費用の最大50%(上限2万5,000円)を助成しています。あなたも生ごみ処理機を活用して、ごみの減量と生ごみをつまみきれいな清潔キッチンをつくりませんか？ 詳細は生活環境課(市役所1階3番窓口)へ。



生ごみ処理機。メーカーにより、さまざまなタイプがあります。

実際に生ごみ処理機を使用している市民の声を

ムダがなく、次世代に貢献
処理機を使うことで、少しでも生ごみが減り、しかも肥料として使っているのでムダがなく、地球環境にいいと思います。処理機を効率よく使うため、生ごみを小さく切る必要があるのが少し面倒ですが、わずかながら次世代にも貢献できている気がします！

Aさん

ごみへの意識が高まった
置き場所のスペース確保や、経費がかかりませんが、処理機を使うからごみに対する意識が高くなりました。

Bさん

嫌な生ごみのにおいが消えた
ごみの臭さが悩みでしたが、それが全くなくなりました！ それだけでも狭いマンションに住む者としてはありがたい。ごみが半分以下になるし、機械も扱いやすい。助成金にも感謝しています。

Cさん

泉大津市には、よりよい環境作りのために日々活動している人々があります。市民、企業、NPO… それぞれの団体のさまざまな取り組みについて意見交換するフォーラムを開催します。11月27日、テクスピア大阪にて、午後2時開始です。ぜひご参加ください。



環境まちづくりフォーラム

11/27 Sat.

— となりは何をやる人ぞ —

参加予定団体

泉大津市自治会連合会・泉大津市衛生委員会・泉大津商工会議所・泉大津青年会議所・景観市民会議「景観人の集い」・大津川自然観察会・緑化ボランティア協議会（大津川に花と緑の会・旭町花いっぱい運動の会・森町花づくり会・エコ・かいたくの会・松之浜町緑化推進委員会・池園町公園緑化の会）・(株)淀川製鋼所・深喜毛織(株)・南海電気鉄道(株)・POSCO-JOPC(株)

わたしたちのまち、泉大津にはたくさんの方がいます。電車を使えば、難波から20分、関空から30分という好アクセス。そして、泉大津港が属している堺泉北港は、国の国際コンテナ戦略港湾に指定されました。また、市内はほとんど高低差がなく、移動しやすいコンパクトシティ。大津川という水辺環境もあります。

◆ ◆ ◆

そんな泉大津をわたしたちの手でもっと元気にしませんか？ キーワードは「環境」です。市民・企業・NPOなどの人々が、泉大津の環境のために普段続けられている活動をお互いに理解し、連携・ステップアップを図るため、フォーラムを開催します。

環境のため、まちづくりのために、だれが、どこで、どんなことを、どのようにしているかについて、語り合ってみよう。

問合せ 生活環境課（市役所1階3番窓口）

③各団体の活動状況や課題発表終了後、ワンコイン・ティーパーティーを予定しています。コーヒーや紅茶を楽しみながら情報交換しませんか？ 費用はお一人500円です。当日会場でお支払いください。

①市長、自治会連合会長挨拶
②基調講演「地に足が着いた市民参画・市民力」 横浜市戸塚区前田町防犯部長 高嶋威男氏（高嶋氏は消費生活アドバイザーでもあります）

開催日時 11月27日(土) 午後2時～4時30分
開催場所 テクスピア大阪4階研修室（旭町22-45 ☎31・4402）

式次第
①市長、自治会連合会長挨拶
②基調講演「地に足が着いた市民参画・市民力」 横浜市戸塚区前田町防犯部長 高嶋威男氏（高嶋氏は消費生活アドバイザーでもあります）

そしてみんながWIN・WIN・WINになるような行動を起しませんか。皆さんの参加をお待ちしています。



ECO 3

暮らしに役立つエコ情報満載！「ごみチャンネル」

（可燃ごみの有料化は、ごみ減量に有効な方法のひとつですが、有料化をきっかけに意識を変えることが最も重要です。ここでは、毎日の生活の中でできる、減量に役立つ情報をお届けします。）

ch. 1 おむつの無料回収は透明、または半透明の袋に入れて

12月1日から有料の指定袋制（緑色）になりますが、福祉的な配慮から「おむつ」および「ストーマ用器具（※）」については、透明、または半透明の袋でお出しいただければ無料回収いたします。これら以外のものが混入されている場合は収集できませんのでご注意ください。

※ストーマ用器具…人工膀胱や、人工肛門を造設した際に装着する蓄尿袋、蓄便袋

ch. 2 無料お試し袋の引換券は届いていますか？引換えは、11月30日まで！

指定袋の普及と定着を図るため、本市に住民票などのある世帯の世帯主の人に、無料お試し袋の引換券（緑色のはがき）を送付しています。引換えできる取扱店は、広報いずみおまつ 10月号および市ホームページに掲載しています。11月30日までに必ず引換えを行ってください。ただし、事前に送付しているはがきがないと引換えできません。引換券が届いていない人や紛失した人は、生活環境課にお越しください。

注意：広報紙 10月号に掲載した取扱店表中、阪口生花店、隣シグマサービスは、辞退されましたのでお知らせします。

ch. 3 マンションなどの管理者の人へ不法投棄防止対策でボランティア袋を交付します

マンションなどの集合住宅の管理者の人で、ごみ集積場に鍵をつける、防止ネットをする、防止柵をつけるなどの不法投棄防止対策を講じていただいた場合に、ボランティア袋を交付します。

ボランティア袋の交付には、事前の申請が必要です。現場を確認させていただいたうえで、年間60枚を上限に交付します。11月1日から、生活環境課窓口で受付します。

ch. 4 ボランティア清掃の人へボランティア袋を交付します

12月1日以後、道路の枯れ葉などをボランティア清掃して下さる人に、ボランティア袋を交付します。団体・個人を問いません。

ボランティア袋の交付には、事前の申請が必要です。11月1日から、生活環境課窓口で受け付けします。

ch. 5 指定袋をご自宅へ「ふれあい宅配」希望者募集

高齢者や障がい者で、取扱店に買い物に行けない人のために、毎月指定袋をお届けします。ただし、1年間の定期購入を条件とします。

「ふれあい宅配」を希望する人は、生活環境課へお申し込みください。

ch. 6 「ごみ減量のために、こんなことをしてみは？」皆さんのアイデアを募集しています

ごみ減量や、環境事業に対する市民の皆さんのアイデアを募集しています。たとえば「泉大津クリーンアップ事業」や「地球温暖化ストップ事業」など、いただいたアイデアを環境事業に活用させていただきます。

ご意見は、はがきや封書、FAX、メールまたは持参で応募してください。はがき、封書は〒595-8686（住所記載不要）泉大津市役所生活環境課宛にて。メールは kankyuu@city.izumiotsu.osaka.jp に。持参の場合は、市役所1階3番窓口まで。

ch. 7 衛生委員会あっせんの乳白色のごみ袋を指定袋に交換します

以前、衛生委員会があっせんしていた乳白色のごみ袋の在庫がたくさん残っている人で、交換を希望する人は、市の指定袋（緑色）と交換します。

なお、以前あっせんしていたごみ袋は、これからは「かん・びん」や「ペットボトル・食品トレイ」などの資源

ごみの日にお使いいただけます。

交換の条件などは、次のとおりです。

交換の条件 以前、衛生委員会があっせんしていた乳白色のごみ袋（50枚入）で未開封のもの ⇒ 市指定袋（45リットル袋）1組（10枚入）

交換の期間・場所 11月1日(月)～12月29日(土・日曜日、祝日を除く) 市役所1階3番窓口 生活環境課まで ※必ず現物をお持ちください。

12/1 から可燃ごみ指定袋制スタート！

市民の皆さんのご協力をお願いいたします

ごみ減量のコツなどについて出前講座をします。

出前講座は、昨年4月から今年9月末までの1年6か月で計110回開催し、のべ3,514人に受講いただきました。

内容は、「ごみの減量・分別の取り組み」、「分別方法」、「指定袋の概要」などで、スクリーンを用い、図解入りでわかりやすく説明しています。特に、ティッシュペーパーの箱やお菓子の箱などの「雑がみ」について、資源として分別していただくようPRを行っています。

今後ともごみの減量・分別についての啓発活動を続けていきますので、出前講座を希望する人は生活環境課までお申し込みください。

邪馬台国の候補地、奈良県桜井市にある纏向遺跡で昨春秋、弥生時代最大の大規模建物跡が見つかり、「女王、卑弥呼の宮殿か」と話題になっている。列島各地の土器が大量に出土し、近くには卑弥呼の墓との説がある。古墳もある。同市の初期ヤマト



「邪馬台国」論争は決着したのか

11～12月のカルチャー・スクール



わが美術を語る

第一線の美術家が「自作に込めるメッセージ」を語る。何を描き、何を伝えなかったのか。あなたの美術力はアップし、美術館巡りをよりよいものに。
●11月14日(日)「伝統と創造」
小灘一紀氏(洋画家、日展評議員、大阪芸大客員教授)



金沢美大で彫刻を学ぶ。立体的で個性的な人物描写は、具象絵画に新世界を切り拓き、2002年の日展で権威ある会員賞を受賞。現代の絵画は無機質で観念的だと言いつつ、作品に日

本人の情緒や感性を盛り込んで詩情をつたい上げ、具象絵画の新しい可能性を追究する。
●11月21日(日)「花鳥画の世界」
上村淳之氏(日本画家、日本芸術院会員)



祖母・上村松園、父・松篁と二人の文化勲章受章者の念に満ちた、気品ある格調高い花鳥

王権の大王墓、桜井茶臼山古墳では国内最多の11種類81枚の銅鏡破片を確認、強大な権力者の存在が浮かび上がった。畿内説対九州説で対立してきた邪馬台国論争は畿内説で決着するのだろうか。
シンポジウムは、まず講師3人が畿内説論者を勢いづけている新材料について報告する。

桜井市教委文化財課の橋本輝彦係長は纏向遺跡の大規模建物跡を、国立歴史民俗博物館の今村峯雄名誉教授は放射性炭素同位法による箸墓古墳にかかわる年代測定を、檀原考古学研究所の

東影悠主任技師は桜井茶臼山古墳の再調査、大量の銅鏡について発表。
午後は、金関恕・弥生文化博物館長の司会で再開。白石太郎・近つ飛鳥博物館長、福永伸哉・大阪大学教授が見解を述べ討論に入る。
シンポジウム詳細
11月13日(日) 午前10時～午後4時 市民会館大ホール。弥生文化博物館共催。入場無料(資料集は別途有料)

●コーディネーター
金関恕氏(「中平」銘鉄剣が副葬されていた東大寺山古墳を弥

画で知られ、日本画壇の重鎮。奈良の自宅では約1600羽の鳥と暮らす。伝統を踏まえたい新しい造形感覚の画風を展開、今春復元された平城宮跡第一次大極殿の上壁に、四方の守り神である四神と十二支を描いた。

●12月5日(日)「私のめざすパブリック・アート」
岡村哲伸氏(彫刻家、堺市特別功績者、日本彫刻会全日本コンテスト審査委員長)



かつて市民に親しまれた堺市大浜公園の「龍女神像」を復元拡大したのをはじめ、南海石津川駅前のモニメント「風車」など、作品の多くが公共の場所に建つ。地域の特性を生かした力強い躍動美は見る人の心をとらえ、町の歴史、魅力を考えさせる。著名人の肖像彫刻の依頼も多い。

生遺跡発掘のほか、イスラエルの古代遺跡を調査
パネリスト
今村峯雄氏(AMS炭素14測定法を用い、考古学と連携し縄文、弥生の年代決定の精密化)
白石太郎氏(古墳時代が専門。邪馬台国畿内説を主張)
橋本輝彦氏(長年、纏向遺跡を調査し、大型建物跡を発見)
東影悠氏(桜井茶臼山古墳再調査団の一員。古墳時代の生産体制を研究)
福永伸哉氏(三角縁神獣鏡の製作地や年代の研究を踏まえ大和政権成立過程の解明を進める)

ホームステイ受け入れなどを通して、国際交流を体験しませんか?

国際交流ボランティア募集

市では、海外からのホームステイ・ホームビジットを受け入れていただける家庭や、交流事業での通訳・日本文化の紹介・各所の案内などをしてくださる次のボランティアを募集しています。
募集の種類
▽ホームステイ：一定期間外国人を家庭に受け入れ(宿泊あり)
▽ホームビジット：外国人を家庭に招待(宿泊なし)
▽語学ボランティア：各種交流事業での通訳や翻訳
▽サービスポランテア：日本文化の紹介や各所の案内をしていただきます
平成23年2月20日(日)に開催される「第18回泉州国際市民マラソン」に出場するため、本市の友好都市であるグレートジョージオン市(豪州)から2人のランナーが来日する予定です。
国際交流ボランティアに登録している人には、ランナーが本



市に滞在する間のホームステイの受け入れや、日本文化・スポーツ・各所の紹介・案内や、泉州国際市民マラソンでの外国人ランナーに対する通訳などのボランティア活動に協力していただいています。
申込方法 「国際交流ボランティア登録申込書」を企画調整課へ提出してください。申込書は同課で配布、もしくは市ホームページからダウンロード可
問合せ 企画調整課(市役所4階)

体験レポート ホームステイを受け入れて...

●小林加栄さん(楠町西)
ホームステイは初めてだったのでとても緊張しましたが、ゲストのスコットさん夫婦とお互いに自己紹介をして話をするうちにすぐ意気投合して緊張もすっかり消えました。
スコットさんは毎朝家の周辺をジョギングして体調を整えていました。そして、準備万全で迎えた泉州マラソン当日。見事一般男子の部で見事優勝しました。スコットさんは良いタイムが出たことにとても喜んでいました。
お二人の滞在中、わたしたちは観光で大阪城や金閣寺、清水寺などに行きました。
チャンスがあればもう一度ホストファミリーをしたいと思います。

●森 常緑さん(池浦町)
スリムなマラソンランナー、ヤドラさんがわが家にやって来た。最初の3日間は、泉州国際マラソンに備えて心身の準備。大好きなお寿司は試合後のお楽しみにして、野菜中心の生活。その甲斐あってか、マラソン当日、ヤドラさんは自己最高記録を出して、未登録女子の部で3位となった。
後半の3日間は大阪城、京都へとフルに楽しんだ。ヤドラさんからオーストラリアのこともいっぱい教わった。また、家族思いのヤドラさんは両親のこと、兄弟、姪のことなども話してくれた。クアアチア移民の両親の話は興味深かった。
それから、家族へのお土産でいっぱいになったスーツケースとともに、ヤドラさんは笑顔でオーストラリアへ帰って行った。爽やかな思い出を私たちに残して。

フカキ夢・ひとづくり賞 公募 将来有望な団体・個人に奨学金を交付しています

市では、「平成22年度フカキ夢・ひとづくり賞」を公募します。この賞は、本市の発展につながる人材の育成を目的とし、さまざまな分野において活躍され、さらに今後の成長が期待できる個人や団体に奨学資金を交付するものです。なお、この賞は、深喜人材育成基金を基礎として実施しています。
●奨励部門
①産業部門…デザイン、ファッションの創作活動や地場産業の振興発展などの分野
②文化部門…文化、芸術の創作活動や伝統芸能などの継承発展の実践、その他文化活動の分野
③学術部門…学術、語学などの修得を極める分野
④スポーツ部門…スポーツ技術の向上や振興などの分野
⑤社会部門…日常の活動を通して、市民生活の向上発展に寄与する分野
⑥環境部門…日常の活動を通して、環境の保全や創造に寄与する分野
⑦その他の部門…その他、市長が適当と認める分野
●対象者
前記の奨励部門において、顕著な活動成果を挙げ、今後その分野で専門的な活動を志し、将来の活躍が期待できると認められる人や団体。個人については市内在住または在勤であること。団体については、市内に活動の拠点があること。
●奨学資金の額
個人 1人50万円
団体 1団体100万円
●審査方法
学識経験者を含めた審査委員会で書類審査のうえ決定
●応募方法
申請書類に必要事項を記入のうえ、企画調整課へ提出
※申請書類は企画調整課にあります。また、市ホームページでダウンロードすることもできます。
●受付期間
11月1日(月)～30日(火)
問合せ 企画調整課(市役所4階)

